

衛研第1-26号
平成27年 9月25日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 27 年 第 38 週（平成 27 年 9 月 14 日～平成 27 年 9 月 20 日）

今週は、報告定点数の減少により定点把握対象疾患の動向は参考値になります。

（小児科定点数 162 136、眼科定点数 41 34）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 5 人の届出があった。四類感染症は、デング熱 1 人、レジオネラ症 3 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、水痘（入院例）1 人、梅毒 2 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(1.54 1.85)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、幸手(2.00 3.67)、東松山(1.00 2.25)保健所管内で増加し、川越市(4.13)、熊谷(2.88)、朝霞(2.46)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 4 歳が最も多い。**流行性耳下腺炎**(0.89 0.68)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少したが、前年同時期と比べ多い状況が続いている。保健所別では、幸手(3.50)保健所管内からの報告が多い。**RS ウイルス感染症**(0.59 0.56)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まった。保健所別では、幸手(1.83)、朝霞(1.46)保健所管内からの報告が多い。**咽頭結膜熱**(0.37 0.49)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、坂戸(0.83 2.17)、幸手(0.00 1.00)保健所管内で大きく増加し、春日部(1.25)、狭山(1.00)保健所管内からの報告が多い。**手足口病**(4.59 4.45)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まったが、前年同時期と比べ多い状況にある。保健所別では、本庄(7.75)、幸手(7.67)、熊谷(6.50)保健所管内で多い状況が続いている。眼科定点対象疾患では、**流行性角結膜炎**(1.05 1.21)の定点当たり報告数は前週より微増した。保健所別では、加須(0.00 2.00)、坂戸(0.00 2.00)保健所管内で大きく増加し、熊谷(5.00)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 30 歳代が最も多い。基幹定点報告対象疾患では、**細菌性髄膜炎** 1 人、**無菌性髄膜炎** 3 人、**マイコプラズマ肺炎** 6 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし（結核を除く）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 5 人（病型 患者 4 人、無症状病原体保菌者 1 人、血清型 0157 3 人、0145 1 人、不明 1 人）

四類感染症 デング熱 1 人（推定感染地域 国外）

レジオネラ症 3 人（病型 肺炎型 3 人）

五類感染症 アメーバ赤痢 1 人（病型 腸管アメーバ症）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人（血清群 A 群）

水痘（入院例） 1 人（病型 検査診断例）

梅毒 2 人（病型 早期顕症 期 2 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

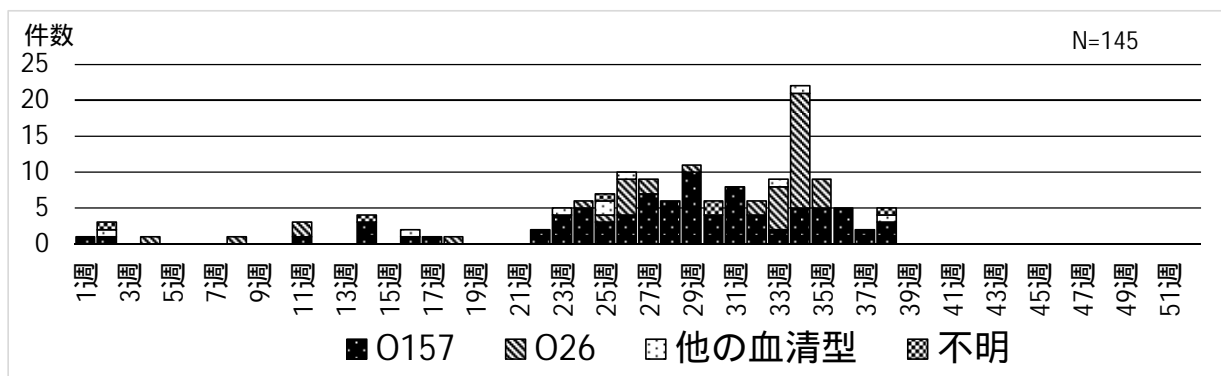
2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

注目すべき疾患

- 腸管出血性大腸菌感染症 -

腸管出血性大腸菌感染症は、今週 5 人の届出（診断週集計 5 人）があり前週より増加した。第 22 週(5月25～31日)以降届出が続いている。年当初からの累計は 145 人、血清型別では O157 が患者 68 人、無症状病原体保有者 19 人の計 87 人と届出の 60.0%を占めている。

週別血清型別届出状況(診断週集計)



年齢階級別では、今週届出のあった 5 人の年齢階級は、10～14 歳、20 歳代、30 歳代、60 歳代、70 歳以上が各 1 人で、10 歳未満の届出はなかった。年当初からの累計では、最も多いのは 5～9 歳の 25 人で、0～4 歳の 12 人を合わせると 10 歳未満が患者全体の 25.5%を占めている。病型別では患者 106 人、無症状病原体保有者 39 人で、患者が 73.1%を占めている。

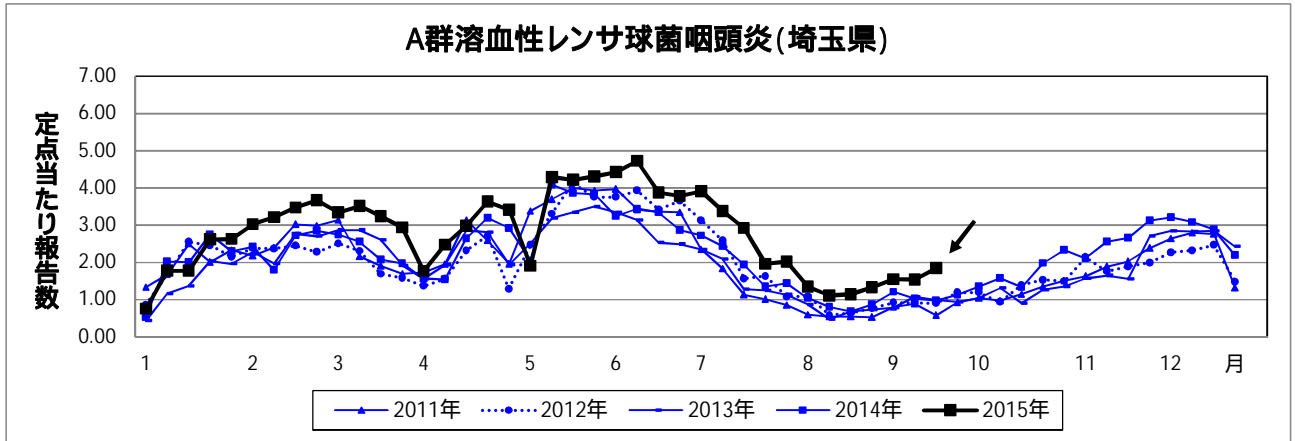
年齢階級別病型別報告数(2015 年第 1 週～第 38 週 診断週)

年齢階級	0～4	5～9	10～14	15～19	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
患者	10	18	12	5	13	13	7	4	9	15
無症状病原体保有者	2	7	3	4	7	2	7	3	2	2

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

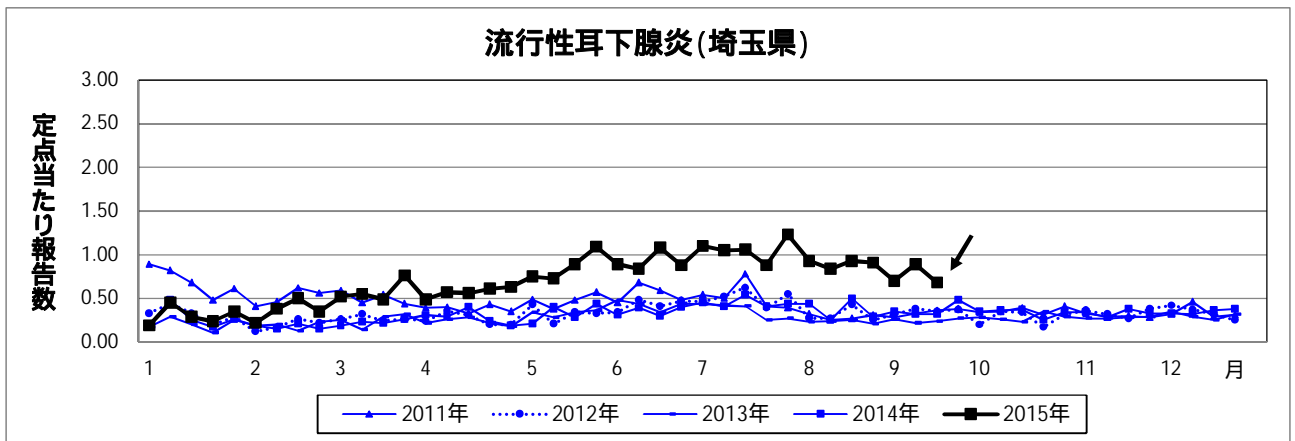
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

県内全保健所管内から報告があった。保健所別では、川越市(4.13)、幸手(3.67)保健所管内からの報告が多い。



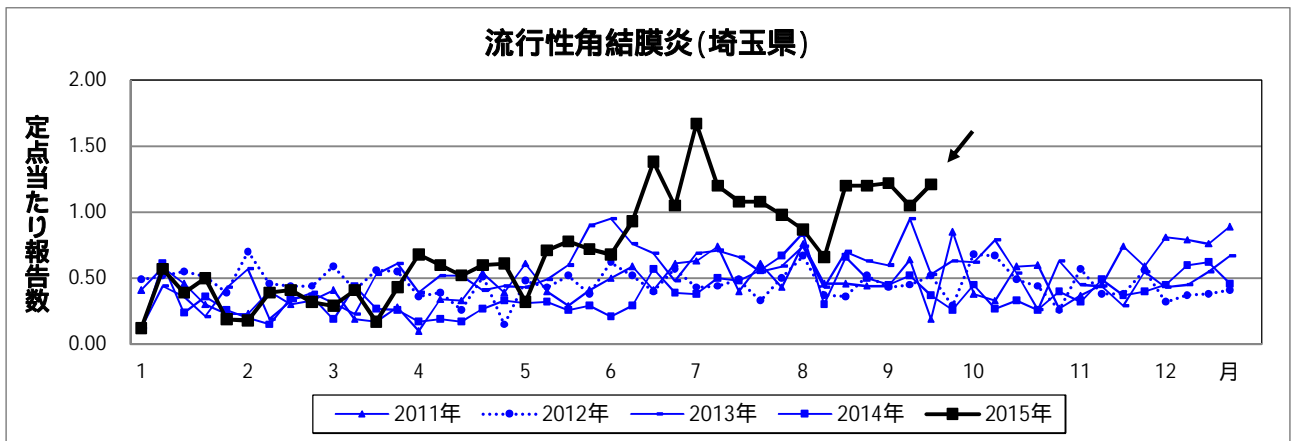
流行性耳下腺炎

秩父、狭山、川越市保健所を除く、13保健所管内から報告があった。保健所別では、幸手(3.50)保健所管内からの報告が多い。



流行性角結膜炎

県内 10 保健所管内から報告があった。保健所別では、熊谷(5.00)、朝霞(2.00)、加須(2.00)、坂戸(2.00)保健所管内からの報告が多い。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第38週)

(2015年9月24日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		5	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	5	145			
四類感染症					
E型肝炎		6	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		12	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	3	58
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	1	10	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	27	侵襲性肺炎球菌感染症		57
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*	1	7
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		30	先天性風しん症候群		
急性脳炎		19	梅毒	2	68
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		7
クロイツフェルト・ヤコブ病		7	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		24	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症		3	風しん		7
侵襲性インフルエンザ菌感染症		11	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3			

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

全国・関東情報 第 36週

(8月31日～9月6日)

平成27年9月25日

インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.45)、茨城県(0.18)、福岡県(0.13)、長崎県(0.13)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は7例と前週と比較して減少し、3県から報告があった。

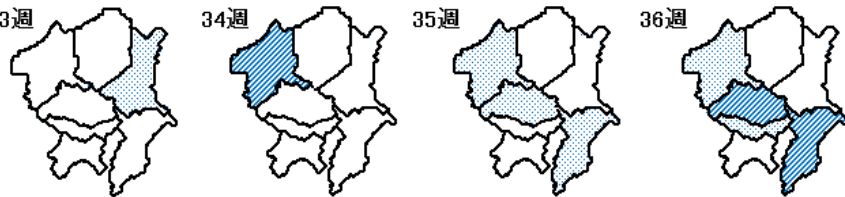
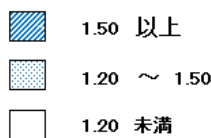
RSウイルス感染症の報告数は2,083例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.91)、沖縄県(0.85)、鳥取県(0.84)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.32)、静岡県(3.18)、北海道(2.83)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(8.03)、宮崎県(7.36)、島根県(6.39)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(0.48)、愛知県(0.41)、鹿児島県(0.40)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は長野県(13.65)、山形県(12.73)、新潟県(12.59)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(2.19)、鹿児島県(1.40)、山形県(1.17)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.74)、石川県(2.34)、沖縄県(1.88)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岐阜県(2.20)、高知県(1.88)、香川県(1.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。3道府県から3例報告があり、年齢別では0歳(2例)、5～9歳(1例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(1.56)、千葉県(1.50)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成27年 36週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	309	63	21	-	4	2	13	20	3
	定点当たり	0.06	0.04	0.18	-	0.04	0.01	0.06	0.05	0.01
RSウイルス感染症	報告数	2,083	376	15	1	3	66	49	172	70
	定点当たり	0.66	0.40	0.20	0.02	0.05	0.41	0.36	0.66	0.34
咽頭結膜熱	報告数	1,116	298	12	2	20	50	45	95	74
	定点当たり	0.35	0.32	0.16	0.04	0.33	0.31	0.33	0.36	0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,567	1,250	75	50	86	251	202	368	218
	定点当たり	1.45	1.32	1.00	1.04	1.43	1.56	1.50	1.41	1.06
感染性胃腸炎	報告数	10,723	3,123	265	75	210	577	312	982	702
	定点当たり	3.40	3.30	3.53	1.56	3.50	3.58	2.31	3.76	3.42
水痘	報告数	767	237	11	13	17	35	41	46	74
	定点当たり	0.24	0.25	0.15	0.27	0.28	0.22	0.30	0.18	0.36
手足口病	報告数	16,092	4,704	341	158	292	804	798	1,198	1,113
	定点当たり	5.10	4.98	4.55	3.29	4.87	4.99	5.91	4.59	5.43
伝染性紅斑	報告数	1,814	602	73	40	29	152	105	141	62
	定点当たり	0.58	0.64	0.97	0.83	0.48	0.94	0.78	0.54	0.30
突発性発しん	報告数	1,878	620	29	32	37	110	83	181	148
	定点当たり	0.60	0.66	0.39	0.67	0.62	0.68	0.61	0.69	0.72
百日咳	報告数	66	27	1	-	4	4	5	9	4
	定点当たり	0.02	0.03	0.01	-	0.07	0.02	0.04	0.03	0.02
ヘルパンギーナ	報告数	3,777	1,014	57	20	74	180	160	289	234
	定点当たり	1.20	1.07	0.76	0.42	1.23	1.12	1.19	1.11	1.14
流行性耳下腺炎	報告数	1,522	423	46	22	20	113	80	80	62
	定点当たり	0.48	0.45	0.61	0.46	0.33	0.70	0.59	0.31	0.30
急性出血性結膜炎	報告数	6	2	-	-	-	-	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.03	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	745	230	18	7	36	50	40	28	51
	定点当たり	1.08	1.13	1.06	0.58	2.57	1.22	1.21	0.72	1.06
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	2	-	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	0.22	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	36	9	-	-	-	-	3	5	1
	定点当たり	0.08	0.11	-	-	-	-	0.33	0.20	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	236	35	-	1	3	8	6	11	6
	定点当たり	0.50	0.43	-	0.14	0.38	0.80	0.67	0.44	0.60
クラミジア肺炎 #3	報告数	11	6	-	-	-	-	-	6	-
	定点当たり	0.02	0.07	-	-	-	-	-	0.24	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.14	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

